令和５年２月２４日

郡市区等医師会　　御中

大 阪 府 医 師 会
（公印省略）

「感染症発生動向情報（第７週）」の送付について

平素は、本会事業の推進に対しまして、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、標記につきまして、大阪府感染症情報センターより、週報データが届きましたのでご提供申し上げます。ご活用のほどお願い申し上げます。

コメントのピックアップ内容は府医ニュースにも掲載しており、大阪府感染症情報センターホームページには、詳細な感染症発生動向状況等が掲載されています。あわせてご活用くださいますようお願い申し上げます。

《 大阪府感染症情報センター ホームページ 》

http://www.iph.pref.osaka.jp/

【問合せ先】
大阪府医師会・地域医療１課
TEL 06－6763－7012

大阪府感染症発生動向調査週報 （速報）

2023年 第7週（2月13日～2月19日）

今週のコメント

～インフルエンザ～　咳エチケット、手洗い、マスクの着用が重要

定点把握感染症

「インフルエンザ　2週連続減少」

第7週の小児科・眼科定点疾患の報告数の総計は1,528例であり、前週比2.6%増であった。定点あたり報告数の第１位は感染性胃腸炎で以下、Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎、RSウイルス感染症、突発性発しん、流行性角結膜炎の順で、定点あたり報告数はそれぞれ6.64、0.41、0.21、0.19、0.15である。

感染性胃腸炎は前週比2%増の1,288例で、南河内11.56、大阪市北部9.00、中河内8.05、堺市7.50、泉州7.37であった。

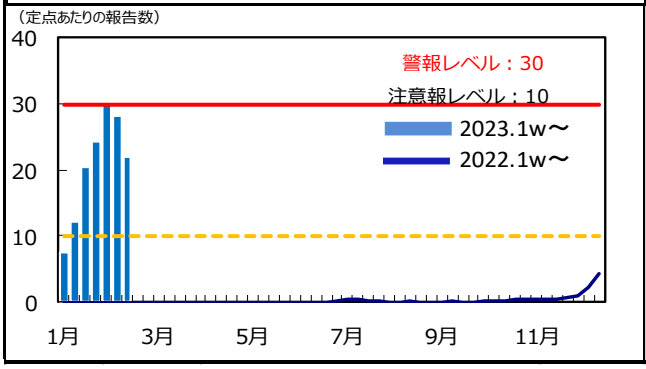
Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎は11%減の79例で、大阪市南部1.11、中河内0.90、泉州0.37である。

RSウイルス感染症は38%増の40例で、南河内0.56、大阪市北部0.50、大阪市西部0.40であった。

流行性角結膜炎は20%減の8例で、三島0.50、中河内0.40、大阪市南部0.25である。

インフルエンザは22%減の6,569例、定点あたり報告数は22.04で、北河内34.05、南河内29.33、大阪市北部23.90、中河内23.23、堺市23.07であった。国内での第2週から第6週までのウイルス検出状況では、AH3が94%を占めている。

インフルエンザ



感染性胃腸炎

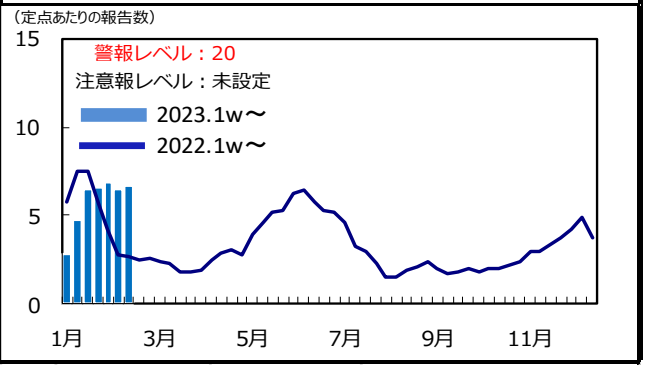


表１．大阪府小児科･眼科定点把握感染症の動向（2023年 第7週2月13日～2月19日）

第7週の順位	第6週の順位	感染症	2023年第7週の定点あたり報告数	前週比増減	2022年第7週の定点あたり報告数	2023年第7週の年齢別患者発生数最大割合値
1	1	感染性胃腸炎	6.64	2%増	2.59	2歳_15%
2	2	Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.41	11%減	0.13	10-14歳_23%
3	5	RSウイルス感染症	0.21	38%増	0.11	1歳_38%
4	4	突発性発しん	0.19	3%減	0.22	1歳_44%
5	3	流行性角結膜炎	0.15	20%減	0.00	20歳以上_88%
参考		インフルエンザ（インフルエンザ定点報告疾患）	22.04	22%減	0.00	10-14歳_19%

突発性発しんについては、(1)季節変動はないこと、(2)毎週の定点あたり報告数は一定していること、(3)年次による差異もほとんどないことから、本文には詳細に記載していません。第36週からインフルエンザの新シーズンの集計が始まりました。

第7週のコメント

～梅毒～　大阪府における梅毒累計報告数は昨年同時期より多く、全国でも2020年5,784例、2021年7,873例と増加している

全数把握感染症

梅毒

全国の梅毒の年間報告数は、2020年5,784例、2021年は過去最高の7,873例と増加している。2022年は大阪府では1,823例（2023年第7週時点）と、現行の集計方法で過去最高の年間報告数であった2018年の1,188 例を大きく超えている。梅毒は、性行為・オーラルセックスにより、生殖器、口、肛門の皮膚や粘膜の微細な傷口から菌が体内に侵入し感染する。また、妊娠時に胎児が胎盤を介して感染し、「先天梅毒」になることがある。梅毒は、適切な抗菌薬の投与で治癒が期待できる。

梅毒（大阪府感染症情報センター）
梅毒とは(国立感染症研究所)

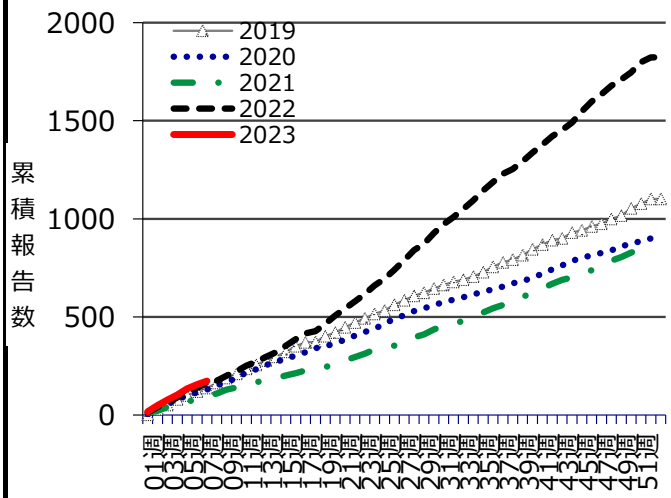


表２．大阪府全数報告数（2023年 第7週2月13日～2月19日）

注意：この週報は速報性を重視しておりますので、今後の調査に応じて若干の変更が生じることがあります
（報告があった疾患のみ記載しています。詳細は感染症情報センターホームページ＞【週報】＞全数把握疾患　をご覧ください。）

	疾患名 （　）内の病型は今週報告分のみ 府内累積報告数の内訳は省略	報告数	豊能	三島	北河内	中河内	南河内	堺市	泉州	大阪市	府内累積報告数
４類感染症	**レジオネラ症(肺炎型)**	**1**								1	11
５類感染症	**アメーバ赤痢**	**1**								1	4
	ウイルス性肝炎	**1**							1		3
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	**3**							3		14
	クロイツフェルト・ヤコブ病	**1**			1						1
	後天性免疫不全症候群	**1**				1					6
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	**1**							1		4
	侵襲性肺炎球菌感染症	**1**								1	13
	梅毒	**18**	1	2			1		2	12	173
	播種性クリプトコックス症	**1**					1				1
新型インフルエンザ等感染症	**新型コロナウイルス感染症**	**9,306**	2020年1月以降累積　2,805,498								
結核 （2022年12月分）	**結核　新登録患者数：87名** （府内累積報告数　1,117名、内　肺・喀痰塗抹陽性　446名）	（内　肺・喀痰塗抹陽性　33名）									

（2023年2月21日　集計分）

新型コロナウイルス感染症の報告数は、大阪府の報道発表の報告数を示しています。
詳細はリンク先の『令和2年11月2日以降』の情報をご覧ください。

感染症発生動向調査情報　（ブロック別　・　疾患別　・　年齢別患者発生数）

2023年2月21日

（ブロック別）

疾病名	ブロック名	01 豊能	02 三島	03 北河内	04 中河内	05 南河内	06 堺市	07 泉州	08 大阪市北部	09 大阪市西部	10 大阪市東部	11 大阪市南部	合計
定点数	小児科	23	17	25	20	16	18	19	14	10	14	18	194
	眼科	5	4	6	5	4	5	6	5	2	6	4	52
	基幹	2	2	2	2	1	2	1	4				16
	ｲﾝﾌﾙｴﾝｻﾞ	35	25	40	31	24	28	32	20	15	21	27	298
小児科定点把握疾患	RSウイルス感染症	3	3	5	1	9	1	1	7	4	2	4	40
	咽頭結膜熱	2	3	0	4	3	2	1	2	1	1	4	23
	Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1	5	9	18	4	5	7	5	1	4	20	79
	感染性胃腸炎	162	108	133	161	185	135	140	126	47	33	58	1288
	水痘	0	1	1	2	3	0	0	1	1	0	13	22
	手足口病	1	3	1	0	6	0	0	1	0	1	0	13
	伝染性紅斑	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2
	突発性発しん	7	3	6	2	5	1	3	2	3	2	2	36
	ヘルパンギーナ	1	3	1	2	0	0	1	0	0	0	0	8
	流行性耳下腺炎	2	0	0	0	2	1	0	1	2	0	0	8
眼科定点把握疾患	急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
	流行性角結膜炎	0	2	1	2	0	0	1	0	0	1	1	8
合　計		179	131	157	192	217	145	157	145	59	44	102	1528
基幹定点把握疾患	細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0				0
	無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0				0
	マイコプラズマ肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0				0
	クラミジア肺炎（オウム病を除く）	0	0	0	0	0	0	0	0				0
	感染性胃腸炎（ロタウイルス）	0	0	0	0	1	0	0	0				1
イ定	インフルエンザ	597	435	1362	720	704	646	736	478	303	233	355	6569

（年齢別）

第7週　2023年2月13日～2023年2月19日

疾病名	年齢区分 6ヶ月未満	12ヶ月未満	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳から14歳	15歳から19歳	20歳以上	合計
R	8	5	15	8	1	2	1	0	0	0	0	0	0	0	40
咽	0	2	6	8	3	0	1	0	1	1	1	0	0	0	23
A	0	0	5	5	6	7	11	15	4	4	0	18	0	4	79
感	4	60	186	197	160	132	114	112	53	49	38	97	20	66	1288
水	0	1	2	5	0	5	3	2	1	0	0	2	0	1	22
手	0	1	1	4	4	2	0	0	0	0	0	1	0	0	13
伝	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	2
突	0	12	16	4	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	36
ヘ	0	0	1	1	1	1	0	1	0	0	0	1	0	2	8
流	0	0	0	0	0	1	2	3	0	0	0	1	1	0	8
急	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
流	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	8
合計	12	81	232	233	177	153	132	134	59	54	39	120	21	81	1528
細	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
無	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
マ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ク	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ロ	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
イ	26	60	231	346	471	588	654	649	488	486	429	1246	192	703	6569

前週比較・ブロック別・疾患別患者発生数

2023年2月21日

（ブロック別）

第7週　2023年2月13日～2023年2月19日

疾病名	ブロック名	01 豊能	02 三島	03 北河内	04 中河内	05 南河内	06 堺市	07 泉州	08 大阪市北部	09 大阪市西部	10 大阪市東部	11 大阪市南部	大阪府計	大阪市計	堺市計	東大阪市計	高槻市計	豊中市計	枚方市計	合　計	上位5疾患順位
定点数	小　児　科	23	17	25	20	16	18	19	14	10	14	18	83	56	18	12	8	9	8	194	
定点数	眼　科	5	4	6	5	4	5	6	5	2	6	4	20	17	5	3	2	2	3	52	
定点数	基　幹	2	2	2	2	1	2	1	4				7	4	2	1	2	0	0	16	
疾病名	インフルエンザ	35	25	40	31	24	28	32	20	15	21	27	130	83	28	18	13	13	13	298	
小児科定点把握疾患	RSウイルス感染症	△ 3	△ 3	5	△ 1	9	▽ 1	1	7	△ 4	△ 2	△ 4	▲ 17	△ 17	▽ 1	△ 1	△ 1	△ 1	▽ 1	△ 40	3
小児科定点把握疾患	咽頭結膜熱	△ 2	△ 3	▼ 0	△ 4	△ 3	△ 2	▼ 1	▽ 2	▽ 1	▽ 1	▲ 4	△ 5	▽ 8	△ 2	△ 3	△ 2	0	▽ 0	23	5
小児科定点把握疾患	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	▽ 1	▲ 5	▽ 9	18	▽ 4	▲ 5	▽ 7	5	1	△ 4	20	21	30	▲ 5	17	0	▽ 0	▽ 5	79	2
小児科定点把握疾患	感染性胃腸炎	△ 162	108	133	△ 161	185	△ 135	140	126	47	▽ 33	▽ 58	510	264	△ 135	△ 84	45	△ 72	△ 55	1288	1
小児科定点把握疾患	水痘	▽ 0	△ 1	▽ 1	▼ 2	△ 3	▽ 0	▼ 0	1	△ 1	0	△ 13	△ 4	△ 15	▽ 0	0	0	▽ 0	▽ 1	△ 22	
小児科定点把握疾患	手足口病	1	▽ 3	▽ 1	▽ 0	△ 6	▼ 0	0	1	0	△ 1	0	9	△ 2	▼ 0	▽ 0	1	△ 1	▽ 0	▽ 13	
小児科定点把握疾患	伝染性紅斑	0	0	0	0	▽ 0	0	△ 2	0	0	0	0	▲ 2	0	0	0	0	0	0	△ 2	
小児科定点把握疾患	突発性発しん	7	3	6	▽ 2	▲ 5	▼ 1	▽ 3	2	△ 3	▲ 2	▽ 2	14	△ 9	▼ 1	△ 2	0	6	3	36	4
小児科定点把握疾患	ヘルパンギーナ	△ 1	△ 3	1	△ 2	0	0	△ 1	0	0	0	0	△ 4	0	0	△ 2	△ 1	0	1	△ 8	
小児科定点把握疾患	流行性耳下腺炎	2	▽ 0	▽ 0	▽ 0	△ 2	△ 1	▽ 0	△ 1	△ 2	▽ 0	0	▽ 3	▲ 3	△ 1	0	0	▽ 0	0	8	
眼科定点把握疾患	急性出血性結膜炎	0	0	0	▽ 0	0	0	△ 1	▽ 0	0	0	0	△ 1	▽ 0	0	▽ 0	0	0	0	▽ 1	
眼科定点把握疾患	流行性角結膜炎	0	▽ 2	△ 1	▽ 2	▼ 0	0	▽ 1	0	0	△ 1	△ 1	▽ 3	△ 2	0	▽ 0	0	0	0	▽ 8	
合　計		△ 179	131	157	192	217	145	157	145	59	▽ 44	102	593	350	145	△ 109	50	△ 80	66	1528	
基幹定点把握疾患	細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0	
基幹定点把握疾患	無菌性髄膜炎	0	▽ 0	0	0	0	0	0	0				0	0	0	0	▽ 0	0	0	▽ 0	
基幹定点把握疾患	マイコプラズマ肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0	
基幹定点把握疾患	クラミジア肺炎（オウム病を除く）	0	0	0	0	0	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0	
基幹定点把握疾患	感染性胃腸炎（ロタウイルス）	0	0	0	0	△ 1	0	0	0				△ 1	0	0	0	0	0	0	△ 1	
イ定	インフルエンザ	597	435	1362	720	▽ 704	▽ 646	736	▽ 478	▽ 303	233	▼ 355	▽ 2443	▽ 1369	▽ 646	562	▽ 215	▽ 233	368	▽ 6569	

△▽・・・前週比20%以上増減　▲▼・・・二週連続前週比20%以上増減

全国感染症集計　　2023年06週(02月6日～02月12日)

1～4類（全数把握）	報告数
エボラ出血熱	0
クリミア・コンゴ出血熱	0
痘そう	0
南米出血熱	0
ペスト	0
マールブルグ病	0
ラッサ熱	0
新型インフルエンザ（A/H1N1）	0
急性灰白髄炎	0
結核	217
ジフテリア	0
重症急性呼吸器症候群（病原体がベータコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。）	0
中東呼吸器症候群（病原体がベータコロナウイルス属MERSコロナウイルスであるものに限る。）	0
鳥インフルエンザ（H5N1）	0
鳥インフルエンザ（H7N9）	0
コレラ	0
細菌性赤痢	0
腸管出血性大腸菌感染症	10
腸チフス	3
パラチフス	0
E型肝炎	9
ウエストナイル熱（ウエストナイル脳炎を含む。）	0
A型肝炎	1
エキノコックス症	1
黄熱	0
オウム病	0
オムスク出血熱	0
回帰熱	0
キャサヌル森林病	0
Q熱	0
狂犬病	0
コクシジオイデス症	0
サル痘	1
ジカウイルス感染症	0
重症熱性血小板減少症候群（病原体がフレボウイルス属ＳＦＴＳウイルスであるものに限る。）	1
腎症候性出血熱	0
西部ウマ脳炎	0
ダニ媒介脳炎	0
炭疽	0
チクングニア熱	0
つつが虫病	4
デング熱	0
東部ウマ脳炎	0
鳥インフルエンザ（Ｈ５Ｎ１及びＨ７Ｎ９を除く。）	0
ニパウイルス感染症	0
日本紅斑熱	0
日本脳炎	0
ハンタウイルス肺症候群	0
Bウイルス病	0
鼻疽	0
ブルセラ症	0
ベネズエラウマ脳炎	0
ヘンドラウイルス感染症	0
発しんチフス	0
ボツリヌス症	0
マラリア	1
野兎病	0
ライム病	0
リッサウイルス感染症	0
リフトバレー熱	0
類鼻疽	0
レジオネラ症	22
レプトスピラ症	0
ロッキー山紅斑熱	0

5類感染症の一部（全数把握）	報告数
アメーバ赤痢	6
ウイルス性肝炎（E型肝炎及びA型肝炎を除く。）	5
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	22
急性弛緩性麻痺（急性灰白髄炎を除く。）	0
急性脳炎（ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。）	6
クリプトスポリジウム症	0
クロイツフェルト・ヤコブ病	1
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	10
後天性免疫不全症候群	9
ジアルジア症	1
侵襲性インフルエンザ菌感染症	4
侵襲性髄膜炎菌感染症	0
侵襲性肺炎球菌感染症	26
水痘（患者が入院を要すると認められるものに限る。）	2
先天性風しん症候群	0
梅毒	180
播種性クリプトコックス症	1
破傷風	0
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	0
バンコマイシン耐性腸球菌感染症	3
百日咳	12
風しん	0
麻しん	1
薬剤耐性アシネトバクター感染症	2

定点把握	報告数	定点当り
インフルエンザ	63786	12.91
ＲＳウイルス感染症	952	0.30
咽頭結膜熱	389	0.12
Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1313	0.42
感染性胃腸炎	22843	7.26
水　痘	185	0.06
手足口病	264	0.08
伝染性紅斑	22	0.01
突発性発しん	676	0.21
ヘルパンギーナ	126	0.04
流行性耳下腺炎	91	0.03
急性出血性結膜炎	7	0.01
流行性角結膜炎	125	0.18
細菌性髄膜炎	7	0.01
無菌性髄膜炎	9	0.02
マイコプラズマ肺炎	7	0.01
クラミジア肺炎（オウム病を除く。）	-	-
感染性胃腸炎（ロタウイルス）	4	0.01

定点数

インフルエンザ	4942
小児科	3146
眼科	690
基幹病院	479

12月(月報)

性感染症・基幹定点	報告数	定点当り
性器クラミジア感染症	2456	2.51
性器ヘルペスウイルス感染症	694	0.71
尖圭コンジローマ	500	0.51
淋菌感染症	843	0.86
メチシリン耐性黄色ﾌﾞﾄﾞｳ球菌感染症	1457	3.05
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	71	0.15
薬剤耐性緑膿菌感染症	9	0.02

定点数

ＳＴＤ	979
基幹病院	477

注意　記載データは速報性を重視していますので、今後の調査結果で若干変更が生じることがあります。

FAXによる配信から、より情報量の多いメール配信への切り替えをご希望される方は以下のメールアドレスまでご連絡ください

survey@iph.osaka.jp